

施策評価シート(令和5年度実施施策)

総合計画 体系	政策№	3	政策名	健やかで人にやさしいまちづくり	施策主管課	健康ふくし課
	施策№	3-1	施策名	保健体制の充実と医療の確保	施策主管 課長名	渡部 朋宏
関係課	健康ふくし課					

1. 施策の目的

対 象	A 地域	意 図	A 健康づくりの輪が広がっている
	B 町民		B 健康や病気予防の知識と意識が高まり、日頃から健康づくりに取り組んでいる

2. 成果指標

			上段：目標値 下段：実績値					
指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 保健体制の充実と医療の確保に関する満足度（増加）（現状値：H28-30平均）	%	78.6	81.5	81.9	82.2	82.5	82.7
				81.3	75.6	80.4		
②	B 特定健康診査受診率（増加）（現状値：H30時点）	%	51.2	58	59.2	60	61	62
				52.8	52.2	53.3		
③								
④								

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	目標値は達成していないが、R4と比較すると満足度は4.8ポイント向上している。不満割合の約半分を占めている「町内の医療体制」から分析すると、町内医療体制に対する不満割合がR3年度に53.0%だったものが、R5年度では46.3%と不満割合が年々減少している状況である。これは、かかりつけ医や各種施設健診の実施、救急医療体制の満足度改善によるものと考えられる。
②	目標値は達成していないが、受診率は1.1ポイント向上している。これは、特定健診受診率向上のため、特性に応じた受診勧奨及び広報やホームページ等による周知を行ったことによるものと考えられる。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・特定保健指導率の暫定値として、R5では46.4%とR4の49.3%から2.9ポイント減少しているが、R5から特別保健指導の強化を図り、R4の14人に対しR5では25名多い39人に実施するなど、保健師による個別指導回数増加を図った。 ・未受診者対策として、AI技術を活用し、対象者毎の分析結果を基に健康意識に応じた内容による受診勧奨を通知した。また、町HPからの施設健診WEB申込みを新たに実施した。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

特定健康診査受診率向上を進めるため、健診未受診者の特性に応じた広報と啓発、受診勧奨を継続して行う。また、個人で人間ドックを受けた方や治療中の病院で検査等を受けた方などで、特定健診と同項目の健診（検査）を受けている場合に、町へ検査結果を提供してもらう「みなし健診」への取組を進める。
--

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和5年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4419	後期高齢者健診事業	11,160	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	4555	感染症対策事業	47,065	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	4789	健診等事業	50,358	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
4	5011	保健センター管理事業	15,375	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	5065	特定健康診査等事業	25,772	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
6	5663	人間ドック助成事業	8,719	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
7	5716	国民健康保険事業	220,338	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
8	16561	新型コロナウイルスワクチン接種事業	31,892	休廃止	皆減	⑦廃止・民営化	
9	16715	後期高齢者医療保険事業	360,313	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
10	16731	国民年金事業	50	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
11	17169	健康づくり推進事業	50	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
12	17170	母子保健事業	19,931	拡充	現状維持	②生産性改善	○
13	17171	地域医療整備事業	49,946	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
14	17172	食育事業	110	拡充	現状維持	②生産性改善	○
15	17173	精神保健事業	148	現状維持	現状維持	⑤現状維持	